

投擲種目（ヤリ・円盤・砲丸）誓約書

- ①専任の監視者（指導者）を置き、常時周囲の安全確認を行います。
- ②投擲練習を行う際、監視者（指導者）がハンドマイクで周囲に知らせ安全確認をしてから開始します。
- ③投擲者は監視者の指示のもと練習を行います。
- ④カラーコーンなどを置いて十分な場所を確保し、勝手に場所を移動させません。
- ⑤円盤投げ用の囲いを使用する際は、使用手順の分かる指導者を1人、補助人員を10名配置します。
（補助人員とは指導者の指示のもと従事できる者）
※囲い無しの円盤は禁止します。
- ⑥施設使用に際して適切な行為がなされておらず、施設管理者に練習の中止を指示された場合は速やかに練習を中止します。
- ⑦練習後は投擲痕（芝生）に砂を補充します。
- ⑧発生した事故やケガにつきまして施設側は一切の責任を負いません。
- ⑨「投擲練習について使用上の注意事項」をよく理解した上で練習します。
（別紙参照）
- ⑩誓約書および別紙「投擲練習について使用上の注意事項」に違反した場合今後一切の利用をお断りさせていただきます。

豊橋市陸上競技場施設指定管理者

（公財）豊橋市体育協会 殿

年 月 日

投擲種目（ヤリ・円盤・砲丸）を練習するにあたり、
上記のことを厳守し安全に施設を使用します。

団体名：

投擲種目の実施責任者（自署）

緊急連絡先： （ ） —